

農業融資財務分析基礎

[問1] 経営体の種類に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 個人で農業を営む者は1月1日から12月31日までの1年間の儲けを計算し、この儲けから法人税を計算して、翌年3月15日までに税務署に申告と納税を行う。
 - b. 農業を営む法人は農業法人と呼ばれ、さまざまな要件を満たし農地を取得することができる農業法人は、農地所有適格法人と呼ばれる。
 - c. 令和2年の農林業センサスによると、農業の経営体は個人事業者よりも法人の方が多い。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問2] 決算書の種類と青色申告に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業所得用の所得税青色申告決算書の様式では、氏名欄に押印する形式となっている。
 - b. 農業所得用の所得税青色申告決算書の貸借対照表は、1年間の収入と経費を集計して、所得金額を計算するものである。
 - c. 農業所得用の所得税青色申告決算書の損益計算書と貸借対照表の間には、A(収入金額の内訳)からL(本年中における特殊事情)があるが、これらの情報は、損益計算書と貸借対照表を読み解くうえでの役割はない。
- (1) 0
(2) 1つ
(3) 2つ

[問3] 簿記のルールに関する次の記述について、(A)、(B)、(C)に入る語句の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- ・資産が(A)ときは、貸方に金額を記入する。
 - ・負債が(B)ときは、貸方に金額を記入する。
 - ・収益が(C)ときは、貸方に金額を記入する。
 - ・費用が(D)ときは、貸方に金額を記入する。
- (1) A 増える B 減る C 減る D 増える
(2) A 減る B 増える C 増える D 減る
(3) A 減る B 増える C 減る D 増える

【問4】 収入金額に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 販売基準によれば、収入金額を計上する時期は農産物の代金を受け取ったときである。
- (2) 現金主義は、青色申告の事業者すべてに認められた特例である。
- (3) 現金主義によれば、収入金額を計上する時期は農産物の代金を受け取ったときである。

【問5】 棚卸しに関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 農業以外の商品の棚卸しでは、収入金額を計算しているのに対し、農業の棚卸しでは、売上原価を計算している。
- (2) 農産物の期末棚卸高は、当年12月31日時点で未販売の農産物の販売価格を記載する。
- (3) 農産物の場合、期末棚卸高については、その販売価格を収入にプラスするが、これは、特定の農産物に限っては、収穫基準で収入金額を集計するルールだからである。

【問6】 取得価額390,000円、取得時期・今年4月30日、耐用年数7年、償却方法・定額法の場合の耕うん機について、1年目の未償却残高と2年目の未償却残高の正しい組み合わせを1つ選びなさい(耐用年数7年の定額法償却率は0.143)。なお、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 1年目 352,820円 2年目 302,366円
- (2) 1年目 348,172円 2年目 292,402円
- (3) 1年目 348,172円 2年目 55,770円

【問7】 個人事業主が令和3年7月15日にトラクター(法定耐用年数7年)を1,700,000円で購入した場合の令和4年中の減価償却費として正しいものを1つ選びなさい。なお、年の途中での除却・売却・休止はないものとし、償却の方法は定率法、耐用年数7年の償却率は0.286とする。また、減価償却費の計算で小数点以下の端数が発生した場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 486,200円
- (2) 428,261円
- (3) 416,674円

[問 8] 減価償却に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。なお、(1)～(3)を購入した者は青色申告の事業者である。

- (1) 取得価額が30万円未満の少額減価償却資産は、年間の合計が500万円までであれば、購入した年分の経費にすることができる。
- (2) 取得価額が20万円未満の一括償却資産は、4年間で1/4ずつ減価償却することができる。
- (3) 取得価額が10万円未満の農業用工具は、購入した年分の経費にすることができる。

[問 9] 修繕費に関する次の記述について、明らかに修繕費と認められるものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、それぞれの固定資産の前期末取得価額は10%相当額を超えているものとする。

- (1) 1,000,000円を支払い、3階建ての建物に避難階段を取り付けた。
- (2) 1,000,000円を支払い、精米機を移設した。
- (3) 1,000,000円を支払い、倉庫を牛舎に改造した。

[問 10] 人件費に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 損益計算書の「雇人費の内訳」に記載する給料の支給額には、家族に支払う給料も含まれる。
- (2) 専従者給与を経費にするためには、事業者本人が青色申告を選択していなければならない。
- (3) 白色申告の場合、専従者に対する給与は経費にできないが、給与があってもなくても、1人につき86万円(本人の配偶者である場合は50万円)を経費にすることができる。

[問 11] 次のうち、最大65万円の青色申告特別控除額を受けられる事業者はどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- (1) 単式簿記で帳簿を作成し、損益計算書を添付した確定申告書を税務署に提出している。
- (2) 複式簿記で帳簿を作成し、貸借対照表と損益計算書を添付した確定申告書を税務署に書面で提出している。
- (3) 複式簿記で帳簿を作成し、貸借対照表と損益計算書を添付した確定申告書を自宅からe-Taxで提出している。

[問 12] 肉用牛の特例に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 肉用牛を家畜市場、中央卸売市場などで売却していることが、特例を受ける要件の1つである。
- b. 肉用牛の売却金額を補てんする性質の補助金などを受け取っている場合、売却金額100万円未満の判定上、補助金額は売却金額に合算する必要はない。
- c. 売却金額が1頭あたり税抜100万円以上であったり、100万円未満であっても売却頭数が1,500頭を超えている場合のその超える部分は、その売却金額の5%相当の所得税と1.5%相当の住民税を納めれば、儲けを農業所得に含めて計算しなくて良いという特例がある。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 13] 現金・預金に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸借対照表の資産の部における預金は、普通預金、定期預金、その他の預金に区分して記載する。
- b. 預金対借入金比率は、預金と借入金・買掛金のバランスを確認するものである。
- c. 期首の預金対借入金比率が150%、期末の預金対借入金比率が170%の場合、財務状態は悪化していると考えられる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 14] 次の固定資産のうち、減価償却が必要なものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. ソフトウェア
- b. 土地
- c. 借地権

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 15] 次の事業主勘定を使った a～c の仕訳のうち、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 事業用の現金 10,000 円を、プライベートな飲食に使った。
(借方)事業主貸 10,000 円 (貸方)現金 10,000 円
- b. 個人用の普通預金 10,000 円を、事業用の現金補給のために引き出した。
(借方)現金 10,000 円 (貸方)事業主借 10,000 円
- c. 個人用と事業用(負担割合 5 : 5)の電話料金合計 10,000 円が、事業用の普通預金から引き落とされた。
(借方)事業主貸 5,000 円 (貸方)普通預金 10,000 円
(借方)通信費 5,000 円

- (1) 0
- (2) 1 つ
- (3) 2 つ

[問 16] 次の a～c が原因で受け取った保険金のうち、非課税のものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 身体の障害に基因して受け取った生命保険の一時金
- b. 満期到来により受け取った生命保険の満期返戻金のうち掛金を上回る金額
- c. 事故により、自身のケガや入院を補償するために受け取った保険金

- (1) 0
- (2) 1 つ
- (3) 2 つ

[問 17] 農業を営んでいる個人事業主 A の、令和元年から令和 4 年までの損益は以下のとおりである。なお、△は赤字を表しており、A は青色申告の承認を受けており、農業所得以外の収入はないものとする。

令和元年	△ 2,000,000 円
令和 2 年	△ 1,000,000 円
令和 3 年	△ 500,000 円
令和 4 年	3,000,000 円

A が令和 5 年に繰越しができる損失金額として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- (1) 0 円
- (2) △ 500,000 円
- (3) △ 3,500,000 円

個人農家の下記資料を基に、[問 18] ～[問 22] に答えなさい。

収入金額	販売金額	8,400,000
	農産物の期首棚卸高	250,000
	農産物の期末棚卸高	220,000
	小 計	(①)
必要経費	租税公課	105,000
	種苗費	190,000
	肥料費	270,000
	農具費	99,000
	農薬・衛生費	270,000
	減価償却費	150,000
	利子割引料	18,000
	雑 費	150,000
	小 計	1,252,000
差引金額	(?)	
貸倒引当金 繰戻額	55,000	
専従者給与	2,783,000	
貸倒引当金 繰入額	(②)	
青色申告特別控除額	550,000	
所得金額	3,796,000	

資 産			負債・資本		
科 目	1月1日	12月31日	科 目	1月1日	12月31日
現金	290,000	320,000	借入金	1,465,000	730,000
普通預金	1,410,000	1,670,000			
売掛金	1,000,000	800,000	貸倒引当金	55,000	44,000
農産物	(③)	(?)			
農機具等	720,000	930,000	事業主借		0
			元入金	2,150,000	2,150,000
事業主貸		3,330,000	(?)		(④)
合 計	3,670,000	7,270,000	合 計	3,670,000	(?)

[問 18] ①に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,930,000
- (2) 8,370,000
- (3) 8,430,000

[問 19] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 0
- (2) 44,000
- (3) 55,000

[問 20] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 30,000
- (2) 220,000
- (3) 250,000

[問 21] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 3,796,000
- (2) 4,346,000
- (3) 4,434,000

[問 22] この個人農家の決算書の分析として、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 事業主貸として3,330,000円が計上されているので、この金額が家計から事業に移っているといえる。
 - b. 専従者給与として2,783,000円が計上されているので、事業主本人と生計が一緒である配偶者その他の親族への給与は2,783,000円である。
 - c. 預金対借入金比率を見ると、この個人農家の財務状態は前年に比べて悪化していると考えられる。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

農業法人の下記資料を基に、[問 23] ～[問 28] に答えなさい。

貸借対照表
(令和 4 年 3 月 31 日時点) (単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	【2,850,000】	【流動負債】	【1,390,000】
現金預金	1,295,000	買掛金	640,000
売掛金	1,200,000	未払金	450,000
農産物等	290,000	(②)	130,000
(①)	131,000	未払法人税等	170,000
貸倒引当金	△66,000		
【固定資産】	【10,640,000】	【固定負債】	【1,850,000】
(有形固定資産)	(10,640,000)	長期借入金	1,850,000
建物	2,010,000		
農機具	600,000	負債の部 合計	3,240,000
果樹・牛馬等	350,000		
育成仮勘定	480,000	純資産の部	
土地	7,200,000	【資本金】	【3,000,000】
		【利益剰余金】	【7,250,000】
		繰越利益	7,250,000
		純資産の部 合計	10,250,000
資産の部 合計	13,490,000	負債・純資産 合計	13,490,000

損益計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日) (単位：円)

【売上高】		9,700,000
【売上原価】		
期首農産物棚卸高	250,000	
当期農業原価	<u>5,850,000</u>	
合計	(?)	
期末農産物棚卸高	<u>290,000</u>	<u>5,810,000</u>
売上総利益		(③)
【販売費及び一般管理費】		<u>3,250,000</u>
営業利益		640,000
【(④) 収益】		
貸倒引当金戻入	66,000	
雑収入	<u>54,000</u>	120,000
【(④) 費用】		
支払利息	<u>50,000</u>	<u>50,000</u>
経常利益		710,000
税引前当期純利益		710,000
法人税，住民税及び事業税		<u>255,000</u>
当期純利益		<u><u>455,000</u></u>

株主資本等変動計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日) (単位：円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		純資産合計
			利益準備金	繰越利益	
当期首残高	3,000,000	0	0	(⑤)	(?)
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益				455,000	455,000
当期変動合計	0	0	0	455,000	455,000
当期末残高	3,000,000	0	0	(?)	10,250,000

[問 23] ①②に当てはまる語句として、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- (1) ①預り金 ②借入金
- (2) ①預り金 ②仕掛品
- (3) ①仕掛品 ②預り金

[問 24] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 3,310,000
- (2) 3,810,000
- (3) 3,890,000

[問 25] ④に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 特別
- (2) 営業外
- (3) その他

[問 26] ⑤に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 6,795,000
- (2) 7,250,000
- (3) 9,795,000

[問 27] 売上総利益率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 34.1%
- (2) 39.3%
- (3) 40.1%

[問 28] 固定長期適合率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 87.9%
- (2) 328.4%
- (3) 575.1%

[問 29] 総資本経常利益率に関する計算式として、(A)、(B)に入る語句の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- ・ 総資本経常利益率 = 経常利益率 × (A)
 - ・ 経常利益率 = 経常利益 ÷ (B) × 100 (%)
 - ・ (A) = (B) ÷ 総資本 × 100 (%)
- (1) A 総資本回転率 B 売上高
(2) A 総資本回転率 B 売上総利益
(3) A 付加価値額 B 売上総利益

[問 30] 各種財務指標による分析に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 流動比率は、現預金と1年以内に現金化できる資産で、1年以内に返済が必要な負債を支払う能力を確認する指標であり、150%以上が理想といわれている。
- b. 生産性分析における付加価値の計算方法のうち、加算法は「付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 賃借料 + 租税公課」と計算する。
- c. 労働生産性は、「付加価値額 ÷ 人件費」で表される。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 31] 資金繰りでよく出てくる言葉である「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 「勘定合って銭足らず」における「勘定」とは利益(所得)を指し、「銭」とはお金のことを指す。
- b. 会計における「発生主義」とは、収益と費用の「発生」とは関係なく、お金の「出」と「入り」に基づいて損益計算をする方法である。
- c. 農業における収入金額の計算は販売基準でカウントするため、現金の裏付けはある。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 32] 「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、営業の過程で資金が不足するものを、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、各記述はそれぞれ独立したものであり、この記述のほかには取引はないものとする。また、令和4年6月15日取引開始前の現預金残高は0円である。

- (1) 令和4年6月15日に商品15,000円を掛けて仕入れ(決済日同年8月31日)、この商品を同年6月24日に20,000円で掛け売りした(決済日同年7月29日)。
- (2) 令和4年6月15日に商品16,000円を掛けて仕入れ(決済日同年7月29日)、この商品を同年7月20日に21,000円で現金販売した。
- (3) 令和4年6月15日に商品17,000円を掛けて仕入れ(決済日同年7月29日)、この商品を同年7月20日に23,000円で掛け売りした(決済日同年8月31日)。

[問 33] 損益計算と収支計算に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 商品を掛けて仕入れ、この商品を現金で販売した場合、「損益計算上の利益<収支計算上の収支」となる。
 - b. 前期から繰り越された未販売農産物が19,000円(販売価格)、当期末に25,000円(販売価格)の未販売農産物が発生している。このとき前期の未販売農産物を含めた当期の実際の上売が220,000円だった場合の当期利益は、214,000円となる。なお、売上原価については考慮しなくてよい。
 - c. 期末に未販売農産物が30,000円(販売価格)発生していた場合、収支計算上30,000円のプラスとなる。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 34] 次の①～⑥の取引を行った結果、現預金の月末残高として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい(現預金の月初残高600,000円とする)。

- ① 商品を90,000円で仕入れ、代金は掛けとした。
 - ② 商品を150,000円で売り上げ、代金は掛けとした。
 - ③ ②の掛け代金のうち、100,000円を手形70,000円と現金30,000円で受け取った。
 - ④ ③で受け取った受取手形が決済され、普通預金に入金された。
 - ⑤ 以前振り出していた支払手形90,000円が決済され、当座預金から引き落とされた。
 - ⑥ 月次決算において、減価償却費50,000円を計上した。
- (1) 520,000円
 - (2) 560,000円
 - (3) 610,000円

[問 35] 仕入と売上原価に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、本問に記載のない事項は一切考慮しなくてよい。

- a. 仕入れた商品のうち売れ残りがある場合は、「仕入<売上原価」となる。
 - b. 期首棚卸高 12,000 円，当期仕入高 16,000 円，期末棚卸高 8,000 円，原価値入率(※)は期を通して 20%で一定であった場合，資金は 8,000 円増加する。なお，売上および仕入はすべて現金で決済されるものとする。
(※)原価値入率 = (売上高 - 売上原価) ÷ 売上原価 とする。
 - c. 期首の在庫(すべて当期に販売)の金額よりも，期末の在庫の金額が小さい場合は資金が減少する。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 36] 在庫に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 不良化や陳腐化の発生は実質的な回収が見込めなくなり，資金繰りに大きな影響を及ぼすことになる。
 - b. 仕入れた商品が売れ残った場合，(仕入 - 売上原価)に相当する在庫が増えることになる。
 - c. 仕入，売上ともすべて現金取引とした場合，在庫が発生しなければ，損益計算の利益と収支計算の収支が一致する。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 37] 経費に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 来年分の地代を当年末に支払った場合、損益計算上の経費計上と収支計算上の経費支出にタイムラグは生じない。
- b. 種苗費、種付料、素畜費、肥料、農薬などのうち育成中の果樹や牛馬に関するものがある場合は、それらは経費ではなく資産計上する。
- c. 事業用の軽自動車を150万円で購入し現金で支払った場合、経費としてではなく、資産として計上するが、その後において、あらためて、お金の支出をともしない経費(減価償却費)として計上される。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 38] 次の①～④の取引で利益と収支が一致するのは、②の取引から何か月後か、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 商品15,000円を掛けて仕入れた。
- ② ①の商品を1か月後に20,000円で掛け売りした。
- ③ ①の買掛金は、仕入れてから1.5か月後に2か月サイトの手形で支払った。
- ④ ②の売掛金は、売り上げてから1か月後に2か月サイトの手形で回収した。

- (1) 2か月後
- (2) 3か月後
- (3) 4か月後

[問 39] 仕入支出と売上収入に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 次の取引で、買掛金を仕入時より1か月後に2か月のサイトの支払手形で支払ったら、お金は不足する。
 - ①商品を掛けて仕入れた。
 - ②仕入から1か月後、その商品を掛け売りした。
 - ③掛け売りから2か月後、売掛金を現金回収した。
- b. 売掛金のサイト、受取手形のサイトが長ければ長いほど、お金が不足する期間は長くなるが、在庫期間の長さは、お金が不足する期間に影響しない。
- c. 仕入れた商品が販売されお金になるまでに3か月かかり、その仕入代金をお金で支払うまでが2か月の場合は、売上が増えるとお金は不足する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 40] 資金繰りに関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 資金繰りに失敗し経営破綻する会社であっても、業績が悪いとは限らない。
 - b. お金が余りそうなときに、そのお金の有利な運用を考えることは、資金繰りには該当しない。
 - c. ある時点でお金の「出」が「入り」を上回ると予想された場合は、お金の「出」を少なくしたり、「入り」を大きくする以外に「入り」が「出」を上回ることはできない。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 41] 資金繰りを考えるうえで考慮される現金増減の法則に関する次の記述について、現金の増加として捉えるものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 買掛金が増加した。
 - b. 受取手形が減少した。
 - c. 減価償却費が増加した。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 42] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 農機具、貸付金、前受金は、いずれも資産の部に表示される。
- (2) 売掛金、受取手形、農産物等が増加するということは、お金の運用先が増え、手元の現金も増加するということを意味する。
- (3) 元入金と負債の区別は、そのお金を調達している先が、事業主本人からか、それ以外からか、ということである。

[問 43] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 借入金とは他人資本に該当するため、「事業主からの借り」である事業主借は他人資本に該当する。
- b. 貸借対照表の貸方はお金の調達源泉を表し、借方はお金の運用形態を表すものである。
- c. 事業主貸は「事業主への貸し」と捉えるため最終的には貸付金に、事業主借は「事業主からの借り」と捉えられるので最終的には借入金に集約される。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 44] 資金貸借対照表に関する次の記述のうち、固定資金に該当するものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. これまで内部に蓄積してきた利益
- b. 流動負債
- c. 元入金

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 45] 固定資金、流動資金の運用と調達について、資金繰りの観点で望ましいと考えられる関係を(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、不等号(「 $<$ 」「 $>$ 」)は、貸借対照表の残高の多寡を表している。

- (1) 固定資金の運用 $>$ 固定資金の調達
- (2) 流動資金の運用 $<$ 流動資金の調達
- (3) 固定資金の運用 $<$ 固定資金の調達

[問 46] 設備資金の調達と計画に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 留保利益と減価償却費の範囲内での設備投資であれば、少なくとも、固定資金が不足することはない。
 - b. 「固定資産の購入金額 < 元入金」である限り、固定資金が不足することはない。
 - c. 設備投資を借入金により調達する場合は、短期借入金で行うべきである。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 47] 運転資金に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 運転資金は「流動負債－流動資産」で表されるが、前渡金は流動資産、前受収益は流動負債に該当する。
- (2) 営業運転資金とは、そのビジネスの営業に直接関係のある資金の運用金額が、その調達金額よりも大きくなっている場合の、その不足資金をいう。
- (3) 営業運転資金の不足資金を調達する場合、調達方法を考える前に、資金不足の原因を追究することが重要である。

[問 48] 営業運転資金に関する下記の図の説明について、正しいものを1つ選びなさい。

売掛金 1,300,000 円	買掛金 450,000 円
棚卸資産 350,000 円	

- (1) 売掛金 1,300,000 円のうち、1,000,000 円分が手形で決済されていれば、営業運転資金が不足することはなかった。
- (2) 売掛金 1,300,000 円のうち、1,000,000 円分を現金販売できていれば、営業運転資金が不足することはなかった。
- (3) 売掛金・棚卸資産の合計と、買掛金との差額は営業運転資金の不足分であるから、何らかの方法で調達しなければならない。

[問 49] 流動資金の運用と調達に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 金利 2% で 500 万円の借入れをした場合の 1 年間の支払利息は、粗利益率 30% のビジネスの場合では売上高 50 万円分の利益に相当する。
- (2) 当座貸越は一度契約をしていれば、限度額までは自由に借りられるうえに、金融機関の審査が他の調達方法に比べて緩やかであるというメリットがある。
- (3) 当座貸越とは、金融機関と当座貸越契約を結び、たとえ口座の残高がマイナスになっても、一定金額までは引き出しも資金決済もできるという制度である。

[問 50] 売上債権管理，在庫管理に関する次の記述について，誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 売上割引とは，回収条件として決めた期日より早く代金を払ってくれた得意先に対して，その早かった日数に応じる利息分をディスカウントすることをいう。
- (2) 常時必要な農薬や肥料は豊富に手元に置いておくことにより，機動的に利用でき，収穫に直結するので，資金繰りは楽になる。
- (3) 「売掛金の回収率は，月間 50%以上とする」という目標は，資金繰り改善のための「財務指標の活用」に該当する。

答案作成上のご注意

① 所持品

受験票・鉛筆(HB)・消しゴム・電卓1台(ただし、金融計算・関数・メモ機能付を除く)

② 解答用紙の記入方法

- (1) 受験票の受験番号・氏名が解答用紙の受験番号・氏名と一致していることを確認のうえ、解答用紙の氏名欄にカタカナ名を記入してください。
- (2) コンピューターの印字がない白地の解答用紙を使用する場合は、受験票記載の受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入してください。
- (3) 解答用紙を折りまげたり、破ったりしないでください。また、解答用紙が著しくよごれたときは、監督者に申し出て新しい(白地の)解答用紙と取りかえてください。その際は、受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入のうえ、受験番号も忘れずにマークしてください。

③ マークの記入方法

この試験は、マーク・シート方式です。

- (1) 正しいマーク例 ● はみださないよう鉛筆で塗りつぶしてください。
- (2) 誤ったマーク例 ① ② ⊗ ⊙ 0
- (3) 訂正方法
消しゴムで跡が残らないようきれいに消してください。
消し方が不完全な場合には二重解答となり採点されません。

④ 本試験の正解は2022年10月6日(木)を目途に次のインターネットサイトに掲示いたします。<https://www.nc-academy-answer.net/>

アクセスする際は、上記URLを直接入力するか、右記二次元バーコードを読み取りして、ダイレクトにアクセスしてください。



(株)農林中金アカデミーのトップページからアクセスすると、アクセス集中によって長時間待たされる、あるいは操作が停止することになりますので控えてください。



株式会社 農林中金アカデミー

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-11 アグリスクエア新宿9階
TEL 03-6457-8806 (代表)